

副町長からの予算概要説明後、委員の質問に対して「限られた財源の中で、地域課題を解決していく予算となっている。町長の120の公約の評価は内部で行っているが、進捗状況は公表していない。財政規律維持の具体的な目標設定はない。余裕を持った財政状況ではない。」との答弁がありました。

税務住民課

所管から説明

○コミュニティバス待合所(旧大町商店)を住民がワークショップを行いながら快適に過ごせるよう改修を行う。

○宅配業者との連携でパスターミナル1階に荷受け、保管、発送等の物流拠点を設ける。

○空き家対策として不動産会社との連携で、空き家対策の総合コーディネート事業を進める。



コミュニティバス待合所 旧大町商店

委員からの意見

○積極的に工夫されている。意欲的であることの評価する。

○空き家対策等は、高齢者向け快適居住空間創出、現行事業と密接に関わるものであり留意して取り進めること。

保健福祉課

所管から説明

○病院事業への運営補助が増大してきている。経営改善検討調査を行っている。

委員からの意見

○高齢化が進展する中で戦没者追悼式等の開催内容や場所など工夫が必要である。

○財源を確保し、保育料無償化を検討してほしい。

○町独自施策として、生活習慣病健診対象者年齢を18歳に下げることを検討してほしい。

○子宮頸がんワクチン医療給付金支給に関する条例化の検討が進んでいない。

あけぼの園

所管から説明

○長期入所が多く稼働率が低くなってきており、対処基準を変更し、3か月以上の長期入院が見込まれる場合、町立病院と連携するなど、適切な時期に家族と相談し退所していただく。退院した場合は、定員特例枠を使いながら対応したい。

量計等の改修を行う。

委員からの意見

○堆肥製造で牛糞が減少している。水分調整剤のオガコの確保が難しくなっている。土づくりに適切な運営と耕畜連携が必要である。

森林総合産業推進課

所管から説明

○製材業者等7社が行うシヨベルロードなどの導入、整備に補助金8,500万円計上している。

委員からの意見

○木質バイオマスボイラーの焼却灰は有効活用することであるが、費用対効果等総合的な視点で検証し処理することが望ましい。

農務課

所管から説明

○雑用水施設改修を計画的に実施する。今年は辛成地区のろ過材、流